

## クリニカルリーダーのレベル別目標

### 【看護師】

レベル	目 標
レベルⅠ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院、看護部の理念、方針、目標が理解でき、組織と機能が理解できる。</li> <li>・患者の権利と看護者責務について理解できる。</li> <li>・専門職業人としての、責任ある態度、行動を身につけることができる。</li> </ul>
レベルⅡ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護活動が「看護者の倫理綱領」の下で実施されていることを理解し、行動できる。</li> <li>・基本的技術、態度を身につけ、安全・安楽に実施し、評価できる。</li> <li>・部署の目標・特殊性を理解し、チームメンバーの役割と責任を果たすことができる。</li> </ul>
レベルⅢ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・倫理的視点を持って、看護ケアが実践できる。</li> <li>・安全安楽に看護技術が実施でき、新人看護職員のモデルになれる。</li> <li>・自己の役割を認識し、日々のリーダーの役割を果たすことができる。</li> </ul>
レベルⅣ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・倫理的視点を持って、看護ケアが実践できているか指導できる。</li> <li>・看護過程、看護実践においてモデルとなり、後輩の指導ができる。</li> <li>・組織の一員として、チームリーダー・プリセプターとしての役割を果たすことができる。</li> </ul>
レベルⅤ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者として、部署における課題を明確にし、目標を示しながら行動することができる。</li> <li>・スタッフが専門発達を遂げるように支援し、指導できる。</li> <li>・常に病院の経営と患者の安全を考慮し、スタッフに指導できる。</li> </ul>

### 【准看護師】

レベル	目 標
レベルⅠ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院、看護部の理念、方針、目標が理解でき、組織と機能が理解できる。</li> <li>・患者の権利と看護者責務について理解できる。</li> <li>・専門職業人としての、責任ある態度、行動を身につけることができる。</li> </ul>
レベルⅡ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護活動が「看護者の倫理綱領」の下で実施されていることを理解し、行動できる。</li> <li>・基本的技術、態度を身につけ、安全・安楽に実施し、評価できる。</li> <li>・チームの一員としての行動をとることができる。</li> </ul>
レベルⅢ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「看護者の倫理綱領」に基づいて、看護ケアが実践できる。</li> <li>・看護師の指導を受けながら、看護過程の展開ができる。</li> <li>・チームの一員として、自己の役割を考えた行動をとることができる。</li> </ul>

レベルⅣ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織の一員として、自己の立場を認識し、自律と責任を持って行動でき、後輩指導ができる。</li> <li>・院内、院外研修に積極的に参加し、看護実践能力を高めることができる。</li> <li>・自己の看護観を深めるとともに、看護研究に参加し、意見を述べることができる。</li> </ul>
------	---

### 【看護助手】

レベル	目 標
レベルⅠ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護職員の自覚を持ち、患者にとって責任のある行動をとることができる。</li> <li>・看護職員として基本姿勢と態度を身につけることができる。</li> <li>・指導を受けながら、介護技術が基本に基づいて実施できる。</li> </ul>
レベルⅡ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門職業人としての態度を身につけ、患者・家族に適切に対応できる。</li> <li>・患者の日常の変化を観察し、何が重要かを認識し、報告できる。</li> <li>・自己の役割を認識し、日常の業務を自立して実践できる。</li> </ul>
レベルⅢ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・倫理的配慮を踏まえた業務のモデルとなれる。</li> <li>・患者・家族状況に関心を寄せ、安全に介護技術を実践し、リーダーシップが発揮できる。</li> <li>・ロールモデルとして日常の業務を実践し、部署の業務の改善点について創造的な意見を述べることができる。</li> </ul>